ファーストサイン講座 ケーススタディルール

受講生が試験時にケーススタディ報告書を正しく提出できるよう、担当講師は授業の際に説明してください。

▶提出に関して
専用ドロップボックスに保存する。保存先ドロップボックスの情報は、試験の事前（試験の1週間前を目安）に事務局から受講生に連絡する。

▶提出内容
- 表紙
- ケーススタディ報告書No.1 （親子のプロフィール）
- ケーススタディ報告書No.2（プログラム用紙計3枚）
- ケーススタディ報告書No.3（報告 1回目・2回目）
- ケーススタディ報告書No.4（報告3回目・まとめ）

▶ルール
＜対象者＞
- お話ができるようになる前のお子様とそのママを対象とする。
- 各ケーススタディの参加親子は、1組以上で行う。
- ケーススタディ3回通して参加してもらう親子が1組以上いること。
- 家族、ファーストサイン有資格者、受講中の方をケースモデルにするのは不可。
- 1回の教室に2組以上の親子が参加しても1ケースとする。

＜開催回数・日程について>
- 全3回開催する。
- 開催の間隔は中2日以上あけ、1ヶ月以内に行うこと。
- その間、家庭でも実践してもらうように促す。

＜添付写真について＞
- 日付け入りの写真とする（日付の手書きは不可）
- お教室の内容や様子がわかる写真とする（親子と先生の3名が写っていること）
- お客様・受講生、それぞれの顔が確認できるようにする
- 記念写真のような内容は不可
- 写真はレポートに貼り付ける

▶その他
- 1回目が試験日より6ヶ月以上前のケーススタディは無効とする。
- 報告書に不備があった場合、試験に合格してもケーススタディを再提出するまでディプロマの発行、ライセンスの発行を見合わせる。

（20231003改訂版）